

【ランキング上位を占めるボードゲーが 4 個もあって嬉しかりけり】

6月8日(土)の日経新聞朝刊 NIKKEI プラス1の何でもランキングは「ボードゲームで思考力磨こう！」だった。ゲームアナリストや雑誌編集者が選んだランキングトップのゲーム10個が載っていて、最新のゲーム傾向や人気に分るものになっていた。

ゲーム愛好家(その世界ではゲームの伝道者・レジェンドとも言われた)の我身には興味深いランキングなので手元にあるか否かを早速調べた。

多いというべきか、少ないんじゃないのというべきかは何とも言えないが、ベスト10中の4個が我が家にあることが分った。

1位と2位のゲームはシニアグループ向けにゲーム講習もしたことがあるものだ。小生のゲーム感覚も満更悪くないのかな、と納得した次第である。



「コレクターならもっと保有しているかと思ったけど・・・」とも言われそうだが、ボードゲー(ボードゲーム)はやたら梱包箱が大きくて、買い続けると保管場所に困るというのが共通の悩みになっている。という次第でそれなりの個数になると、保管場所がないから「これ以上は買わないでおこう」となるし「狭い家に置けないんだから、早く処分してよ。遊ばないゲームばかりじゃないの!」と厳しい指摘が入ることになる。

小生も保管対策をそれなりに立てて ①今後、ゲームはできるだけ購入を控える ②新しいゲームを買ったら古いのを処分する ③かさばるケースを断捨離して、中身のトークン(駒)やカードだけ保管するといったことを実践している。

先日、40年来のゲーム仲間にもゲーム保管の話をしていたら、「最近の若い人はレトロなゲームをメルカリとかで購入したいという希望があって、古いゲームが高値で売れてますよ」と、教えてくれた。

「それじゃ、ボクも高値で裁けるのかなあ」と希望的観測を伝えると

「野本さんは箱を処分したんでしょ。それじゃダメですよ」とにべもなく言われてしまった。

なにかのテレビ CM じゃないけど「もっと、早く言ってよーーー!」と唸ってしまった。

そのゲーム捨てるな高く売れるかも 若い人から買いが入る世 断捨離でゲームを捨てるその前に メルカリ市場調べてみよう

【商売にダジャレ織り込む店ありて ふと目にとまり気になる一瞬】

6月15日(土)は二子玉川のデパートへ。駅前広場通りでランチしながらファーマーズマーケットを眺める。目の前の店は干し芋を売っている。店の名前は「ほしいもの百貨」とダジャレ入りだった。

ランチ後に店を覗くとお手頃な販売価格なので、ついつい買ってしまった。

干し芋から「ほしいもの」へとは遊び心溢れる店でしたね。



ほしいもの干し芋だけじゃないけれど 老いも若きもまずは食べ物 干し芋が「ほしいもの」だとダジャレ入れ 商売にするセンスいいかも ダジャレ入り商品世の中溢れてる 便秘用には「デ・ルモア」錠と